

日本語学習支援サイト RAICHO 報告 (2020年4月～2021年3月)

濱田 美和

1 日本語学習支援サイト RAICHO の概要

「日本語学習支援サイト RAICHO」(以下、「RAICHO サイト」, <http://www3.u-toyama.ac.jp/raicho/>) は、富山大学に在籍する留学生の日本語学習を総合的に支援するための一つの手段として、国際機構が運営しているサイトである。本サイトのねらいは、富山大学で学ぶ留学生の学習を支援するという点にあり、ターゲットを富山大学の留学生に限定することで、サイトに掲載する情報を絞り込み、利用者が必要な情報に容易にアクセスできるようにするという点に重点を置いている(サイト自体は学内外を問わず利用可)。本稿では、RAICHO サイトの2020年度の整備状況について報告し、今後の計画を述べる。

2 2020年度 RAICHO サイト整備状況

RAICHO サイトはセキュリティ上の問題点が生じたため、2013年12月より始めた外部サーバでの運用を2016年度末に一旦停止し、2017年度から学内の外部公開用サーバの利用に切り替えた。外部公開用サーバではMySQL(データベース)が利用できないため、日本語自己学習コンテンツの解答履歴の参照機能を外して、クイズ・テスト作成ソフト「THiNQ Maker」(ロゴスウェア株式会社)を用いて、新たにコンテンツを作り直す作業を2017年度より継続して行っている。2020年度は日本語自己学習コンテンツの作り直しの作業を進め、日本語プログラム初級クラスでの使用教材『みんなの日本語 初級』(スリーエーネットワーク)の1課～10課までのことばクイズを作成した。



図1 ことばクイズ (スマートフォン版)

3 今後の課題

2016年度末の外部サーバでの運用停止以降、4年をかけて新たな運用体制を徐々に整備し、2016年度までに公開していたコンテンツの半分を再公開できるようになった。今後も継続してコンテンツの作り直しの作業を進めながら、新たなコンテンツ開発にも着手したい。